

「いのちの育みかた」
～これからの食育と育児～



真弓定夫

まゆみ・さだお

1931年東京生まれ。東京医科歯科大学医学部卒業後、同大学病院小児科学教室に入局。田無市(現西東京市)の佐々病院勤務を経て、74年、武蔵野市吉祥寺に真弓小児科医院を開設、現在に至る。2003年、社会文化功労賞受賞。著書に「自然流育児のすすめ」(地湧社)、「子どもは病気を食べている」(家の光協会)ほか多数。チェロ、謡曲、小唄、シャンソンなど趣味も多彩。

むすび 600号 記念講演会

in
福岡

「感性的正食のすすめ」
～マクロビオティックの今～



岡田定三 (正食協会会長)

おかだ・ていぞう

1936年京都市生まれ。同志社大学商学部卒業。会社勤務を経て、69年ムソー食品株式会社を創業、代表取締役就任。88年に退任、正食協会専務理事を経て、97年同協会会長に就き現在に至る。16歳で出会った桜沢如一氏を師父と仰ぎ、30歳からマクロビオティック啓蒙活動に参画。現在も旺盛な講演・執筆活動を行っている。

メタボ検診が始まって、はや1年、それでも生活習慣病は減るところか増え続けています。食育が叫ばれるようになったのも、医療では限界があるため、食生活の重要性が見直されたからです。やはり今の食の有様や食べ方に大きな問題があるのではないのでしょうか。誤った大人の「食べ方」を見習って、子供にまで生活習慣病がまんえんしようとしています。本来の食育を考えると、未来の子供の健全な成長についていっしょに考えてみませんか。今回の講演会では子供の健康づくりや実生活に役立つ、知識やヒントがたくさん得られることでしょう。皆様のご来場をお待ちしています。

[日 時] 2009年7月20日[月・祝] 午後1時～午後5時(開場12時30分)

[会 場] クローバープラザ 1F / クローバーホール(福岡)

[入場料] 無料 但し、あらかじめお申し込みが必要です。

お申込み
方法は裏面を
ご覧下さい

